

経済学部 国際ワークショップ

「世代間格差を巡る経済学」

わが国のみならず世界各地で所得格差の拡大が論じられ、これが政治あるいは社会不安をもたらしているとの指摘が多くなっています。米国におけるトランプ政権の発足、あるいは英国におけるEU 離脱なども、所得格差の拡大が原因といえるかもしれません。

経済学部では、社会各層の所得格差の分析を通じ、親の所得格差がいかにより子供の世代に影響するかといった課題について精力的に研究されている Juan Prieto-Rodriguez 教授（スペイン、オビエド大学経済学部）を招へいし、"How intergenerational inequality can be measured ?" と題する報告をいただきます。

こうしたテーマに関する議論を通じ、本ワークショップでは、現代の日本及び世界経済・社会が抱える課題について分析を行いたいと考えております。

皆様の積極的なご参加を期待しております。なお、使用言語は英語です。

◆開催日時： 2017 年 7 月 10 日(月) 15 時 00 分～16 時 30 分

◆場 所： 摂南大学経済学部ゼミ室 1（1号館7階）

◆プログラム：

15:00~15:10	<i>Opening: Prof. Kiichiro Yagi (President, Setsunan University)</i>
15:10~16:00	<i>How intergenerational inequality can be measured ?</i>
	<i>Prof. Juan Prieto-Rodriguez (University of Oviedo, Spain)</i>
16:00~16:15	<i>Discussions and some Comments</i>
	<i>Prof. Hiromasa Kubo (Setsunan University)</i>
16:15~16:30	<i>Discussions with participants</i>

◆Chair: Prof. Kazuko Goto (Setsunan University)

注)使用言語:英語

◆講師・討論者の紹介

Juan Prieto-Rodriguez 教授：オビエド大学経済学部において、社会構造、労働市場など幅広い分野をカバーし、多数の論文を執筆。

オビエド大学：スペイン北部に位置する 400 年以上の歴史、27,000 人の学生を誇る総合大学

【本件にかかる問い合わせ先・・・摂南大学経済学部事務室：濱崎 (Tel:072-839-8120)】